

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公表番号】特表 2006-525063(P2006-525063A)

【公表日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-044

【出願番号】特願 2006-506632(P2006-506632)

【国際特許分類】

**A 6 1 F 2/06 (2006.01)**

**A 6 1 F 2/84 (2006.01)**

**A 6 1 B 17/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 F 2/06

A 6 1 M 29/02

A 6 1 B 17/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 13 日 (2007.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上方端および下方端を有する第 1 管状本体と、

上方端および下方端を有する第 2 管状本体と、

第 1 管状本体の上方端と第 2 管状本体の上方端との間にある可撓性連結部と

を含み、管状本体が可撓性連結具の周りを動いて並行関係になった時に各上方端が半円開口部を規定するように、第 1 および第 2 管状本体の上方端が構成されている、自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 2】

可撓性連結部がポリマー製ヒンジを含む、請求項 1 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 3】

可撓性連結部が織物層を含む、請求項 1 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 4】

可撓性連結部が e P T F E を含む、請求項 1 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 5】

可撓性連結部がダクロン ( D a c r o n ) を含む、請求項 1 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 6】

可撓性連結部が縫合糸を含む、請求項 1 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 7】

可撓性連結部がワイヤループを含む、請求項 1 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 8】

可撓性連結部が自己伸張可能なワイヤフレームを含む、請求項 7 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 9】

可撓性連結部が、第 1 管状本体中の第 1 フレーム部分を第 2 管状本体中の第 2 フレーム部分に枢動可能に連結するワイヤループを含む、請求項 8 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 10】

ワイヤループがフレームと一体化している、請求項 9 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 11】

ワイヤループがフレームから独立している、請求項 9 に記載の自己伸張可能な分岐部移植片。

【請求項 12】

装置遠位端および装置近位端を有し、その遠位端が遠位開口部を規定し、近位端が近位開口部を規定している第 1 管状セグメントと、

同様に装置遠位端および装置近位端を有し、その遠位端が遠位開口部を規定し、近位端が近位開口部を規定している第 2 管状セグメントと、

第 1 および第 2 管状セグメントの遠位端を連結する可撓性リンクとを含み、

前記第 1 および第 2 管状セグメントが自己伸長可能に構成されている人工血管。

【請求項 13】

第 1 および第 2 管状セグメントの遠位開口部が、1 つの直線的側部を持つ D 字状であり、リンクが、第 1 および第 2 管状セグメントの直線的側部の間に配される、請求項 12 の人工血管。

【請求項 14】

第 1 管状セグメントおよび第 2 管状セグメントが管状支持体およびスリーブを含む、請求項 12 の人工血管。

【請求項 15】

管状支持体の少なくとも一部分が第 1 および第 2 管状セグメントの遠位端で露出される、請求項 14 の人工血管。

【請求項 16】

第 1 および第 2 管状セグメントの遠位開口部がそれぞれに内側部を含み、リンクが第 1 および第 2 管状セグメントの内側部の間に配される、請求項 15 の人工血管。

【請求項 17】

スリーブの遠位縁部が、第 1 および第 2 管状セグメントの外側縁部から第 1 および第 2 管状セグメントの内側に向かって、遠位方向に次第に細くなる、請求項 15 の人工血管。

【請求項 18】

第 1 管状セグメントまたは第 2 管状セグメントを通して少なくとも 1 つの延長部に血液が流れ込むことができるように、第 1 管状セグメントまたは第 2 管状セグメントの装置近位端に係留できるようになっている少なくとも 1 つの延長部をさらに含む、請求項 12 の人工血管。